

様式 2

番号   観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳 134 道徳 234 道徳 334 道徳 434 道徳 534 道徳 634	小学どうとく 1 はばたこうあすへ 小学どうとく 2 はばたこう明日へ 小学どうとく 3 はばたこう明日へ 小学どうとく 4 はばたこう明日へ 小学道徳 5 はばたこう明日へ 小学道徳 6 はばたこう明日へ
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び目標、内容等〕	<p>○ 生命の尊厳について 第1,2学年では、動物の赤ちゃんにどのようなことを言ってあげたいか、今まで生きてきて楽しかったことやできるようになったことは何かを考える活動等、第3,4学年では、命の力やすばらしさとはどのようなことか、精一杯生きるといことはどのようなことかを考える活動等、第5,6学年では、命を輝かせるとはどのようなことか、かけがえのない命を未来にどのように伝えていくかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 自然について 第1,2学年では、自然の中でどのように過ごしていくか、自分たちの回りにある春はどのようなものがあるかを考える活動等、第3,4学年では、自然を大切にするととはどのようなことか、動物の懸命に生きる姿になぜたくさんの方が感動するのかを考える活動等、第5,6学年では、豊かな自然環境をどのように共存していくか、どのようにしたら身近な自然環境を守っていくことができるかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 伝統と文化について 第1,2学年では、自分の生まれ育ったところにはどのような行事があるか、よいところは何かを考える活動等、第3,4学年では、地域の行事や活動に参加するとき大切にするとよいことは何か、国や生まれ育った地域のよいところは何かを考える活動等、第5,6学年では、身近な地域の祭りにはどのようなものがあるか、自然が創り出す風景や人間の偉大さなどに触れてどのようなことを感じるかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 情報化への対応について 第1,2学年では、嘘をついたりいたづらをしたりするのはなぜよくないのか、知らない相手から学級の友達の電話番号を教えてほしいと言われたときどのように受け答えをするかを考える活動等、第3,4学年では、ゲーム依存にならないためにどのようなことに気を付けるか、自分の情報を守るために大切なことはどのようなことか、社会を支えている法やきまりを守ることの大切さとはどのようなことかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列 言語活動については、自分や友達の考えを記入する欄や道徳的価値に対する問い、今後の行動を示唆する「学びの手引き」を配置し、問題解決的な学習については、学習のねらいを明確にする「導入」を配置し、体験的な学習については、役割演技を通して道徳的価値の理解を深める「やってみよう」や「ジャンプ」を配置するなど、児童が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは9教材、Bは7教材、Cは11教材、Dは7教材、Eは2教材、全体で36教材であり、総ページ数は118ページとなっている。 第2学年～Aは9教材、Bは9教材、Cは9教材、Dは8教材、Eは2教材、全体で37教材であり、総ページ数は130ページとなっている。 第3学年～Aは10教材、Bは8教材、Cは12教材、Dは4教材、Eは2教材、全体で36教材であり、総ページ数は136ページとなっている。 第4学年～Aは9教材、Bは8教材、Cは12教材、Dは5教材、Eは2教材、全体で36教材であり、総ページ数は144ページとなっている。 第5学年～Aは8教材、Bは6教材、Cは14教材、Dは6教材、Eは2教材、全体で36教材であり、総ページ数は152ページとなっている。 第6学年～Aは12教材、Bは6教材、Cは11教材、Dは5教材、Eは2教材、全体で36教材であり、総ページ数は152ページとなっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 各学年に、一年間の道徳の学習で一番心に残ったことを記入する「一年間の道徳の学習を振り返ろう」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童が自らを振り返るための工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年に、学校と家庭との連携を促すことを目的とした「家の人から一言」、「先生から一言」を配置するなど、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</p> <p>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ 北海道と関連のある教材は、「伊能忠敬」など10箇所取り上げられている。</p> <p>○ いじめの問題については、差別や偏見のない社会をつくるために自分にできることは、どのようなことがあるかを話し合う活動等を取り上げている。</p>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。